

今回は、今月、南河内の山々で出会った「カメムシ」の中から、結構“個性的”な種を選んで紹介したいと思います。

一般的に「カメムシ」と聞くと、若干、眉間にシワを寄せながら、“ああ、あの臭い虫ね...”と答える方も多いようですが、クマゼミ、アブラゼミなどの「セミ」や、水生昆虫である「アメンボ」や「タガメ」なども“カメムシの仲間”なのです！

そして... いわゆる「カメムシ」の中にも、愛らしい種はいるのです...

(ただし、この感情はあくまでも“一部の人間にとって”の勝手に一方的なものにしか過ぎませんが...)

写真 ~ : エサキモンキツノカメムシ

背中中央に、黄色い“ハートマーク”のあるカメムシです。

体長は1.5 cmにも満たないのですが、見つけると何故か幸せな気持ちになりますね！

3枚目の写真は参考のため、別箇所(万博記念公園)で撮影した同種の の写真ですが、自分が産んだ卵が孵化して2齢幼虫(1度脱皮)になるまで、その場を離れずに飲まず食わずで卵と幼虫を守り続けるのです！

写真 ・ : ヒメハサミツノカメムシ

何とも不思議な形のカメムシを見つけました。何と、尾部にハサミが付いているのです...

体長は1.5 cmくらいで、体色も美しいですね！

このように大きな“ハサミ”があるのは だけですが、いったい何のためのハサミなのかはよくわかっていないそうです。

交尾の時に をはさんで逃げないようにしている、という説もあるようです。

写真 ・ : セアカツノカメムシ

体長は2 cm弱のカメムシです。

6枚目の写真のように、 には尾部に小さな赤色の突起が見えています。

写真 : オオヘリカメムシ

褐色で、前胸部側面が前方に張り出している大きなカメムシ。体長は2.5 cmくらいと大きく、脚も太い、いかにも頑丈そうな雰囲気醸し出しているかのようです。

写真 : キマダラカメムシ

ポピュラーな種である「クサギカメムシ」を一回り大きくし、さらに体に黄色い斑点を配した珍しいカメムシに遭遇しました！

体長は3 cm弱と“おおもの”です。

この見慣れない種、中国から九州に入り、急速に分布を広げている“外来種”で、2007年には岡山で、2010年までには東京でも記録されたようです。

















